

令和元年度 議会報告会 第2分科会  
[社会文教委員会]

テーマ	子どもを 見守り 育む 地域社会について
本日の分科会で話し合いたい点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の「宝」である 子どもたち との関係づくり</li> <li>・子どもを見守る活動</li> <li>・「子どもを見守り育む地域社会」の理想像とは</li> </ul>
テーマに係る課題（背景）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の報道では、児童虐待やいじめなど子どもを取り巻く悲しい事件があとを絶ちません。 児童虐待は、家庭内の閉鎖空間の事案であることや児童相談所が県の所管であることなどから、市としてどのように関わるかなど難しいこともあります。地域の宝である子どもたちを、地域社会としてどのように見守り、育てていくかは、委員会としても重要な課題と認識しています。</li> <li>・そこで、「子どもを見守り育む地域社会について」をテーマとし、「子ども」と「地域」との関係について、参加者からご意見や事例をお聴きします。</li> <li>・地域の「宝」である子どもたち をどのように見守っていくことが良いのかを意見交換し、議会から市側に提言できることを市民の皆さんと一緒に探ります。</li> </ul>

○本日の分科会の進行：

- ①委員会の活動報告
- ②話題提供者からの発表
- ③グループセッション（数人のグループで話し合い）
- ④振り返りとまとめ（各グループからの発表）
- ⑤お礼のあいさつ

## 1 社会文教委員会の活動報告

## (1) 社会文教委員会が所管する市の部署

◇健康福祉部	福祉課、子育て支援課（保育所・認定こども園含む）、 長寿支援課（介護保険含む）、保健課（国民健康保険含む）
◇教育委員会	学校教育課（小中学校含む）、生涯学習・スポーツ課（文化財含む）、 歴史研究所、市公民館（分館含む）、文化会館（人形劇含む）、 美術博物館、図書館
◇市立病院	飯田市立病院、介護老人保健施設「ゆうゆう」、高松診療所

## (2) 社会文教委員会の主な活動

◇定例会・ 臨時会	<p>市の条例や予算・決算、市民からの請願・陳情などを審査</p> <p>事例) 令和元年第3回定例会（2019.9.10 社会文教委員会）</p> <p>Q 委員：「10月から保育料の無償化がスタートされる。対象者への説明はどのように行うのか」</p> <p>A 市側：「ガイドブックを作成し、保護者へ配布した。また、保育園ごとに説明会を開いていただき、詳しい説明に伺ったり、いいだエフエムで案内したりしている。なお、「広報いいだ」にも制度の概要を掲載し、これから入園する予定の保護者にも周知している」</p> <p>Q 委員：「保護者の中には、日本語が得意でない方もいるかもしれないので、しっかりと対応をして欲しい」</p> <p>請願・陳情) 飯田市学校教職員組合からの請願3件、陳情1件を審査し採択。</p> <p>請願：「国に対し、複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書」を提出願いたい」</p> <p>委員会提出議案として議決し、国会及び関係行政庁に意見書を提出した。詳しくは、議会だより、webサイト、Youtube（動画）をご覧ください。</p>
◇管内視察・ 管外視察	<p>[管内視察]</p> <p>5月21日、ICTを活用した授業の視察（千代小学校）、学校施設空調設備整備事業（松尾小学校）、鼎あかり保育園移転改築事業など9カ所を視察。</p> <p>[管外視察]</p> <p>7月2日～4日、奈良県、滋賀県で「奈良市いじめ防止基本方針について」、「奈良市のICT教育について」、「草津市子ども・子育て支援事業計画について」など6項目の先進事例を学ぶ。</p>
◇議会による 行政評価	7月22日から9月20日まで、飯田市総合計画「いいだ未来デザイン2028」を議会として評価。44ページの評価・提言書にまとめ、市長へ提出。
◇議会報告会	令和元年度は、10/1から10/10まで7ブロックで開催。

◇所管事務調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の社会文教委員会では、「子育てに最適な地域とは」をテーマの一つに掲げ、議会報告会で意見交換を行いました。</li> <li>・ 議会報告会でいただいた意見を基に調査研究を重ね、市長に<u>4項目の政策提案</u>を行いました。</li> </ul>
	<p><b>提案1：コミュニティスクールについて</b></p> <p>(1) コミュニティスクールについては飯田市の場合、学校運営協議会を要として運営されており、参加者を中心に徐々に周知がされてきた。 しかし、PTA、まちづくり委員会、ボランティアをはじめとして、まだまだ知れ渡っているとは言い難い。教育委員会を中心に、一層の啓発活動に取り組まれない。</p> <p>(2) 各学校のコミュニティスクールの運営、とりわけ広報活動や各組織の横展開を充実させるため専門官は必要と考える。現行の公民館主事がコーディネーター役を担うことも含み今後検討されたい。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>対応状況（教育委員会）：</b></p> <p>(1) 教育委員会の情報誌においてコミュニティスクールの特集記事を掲載し、全家庭に配布しました。（3月）。 今年度の学校運営協議会には、教育長または事務局が参加し説明。また、PTA会長会等においても説明を実施。引き続き機会を見つけて一層の啓発に努めていきます。</p> <p>(2) 特色ある各地域の状況や人材資源を熟知している公民館長あるいは公民館主事がコーディネーターとなることで、学校・地域・保護者を繋いでいます。 広報活動や取組の横展開に繋がるよう、公民館館長・主事と小中学校の教頭とが意見交換する場を設け、それぞれの取組の好事例を学び合いました。（7月）</p> <p><b>提案2：放課後児童クラブについて</b></p> <p>(1) 児童クラブのさらなる拡大が望まれている。小学校高学年児や長期休みでの受け入れができるよう検討されたい。</p> <p>(2) 教育委員会と支援員との十分な意思疎通が図られるよう懇談会の内容を充実されたい。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>対応状況（教育委員会）：</b></p> <p>(1) 高学年児童については、定員に満たない施設で受け入れをすることができましたが、希望は多いと思われます。 長期休みでの受け入れについては、土曜日の受け入れと同様、可能な範囲で受け入れるよう努めていきます。 次期「子ども応援プラン」の作成に合わせて、引き続き検討します。</p>

(2) 館長会や支援員との懇談会を開催するほか、必要により訪問し意志の疎通に心掛けていきます。

**提案3：公立保育園にかかる延長保育や未満児保育について**

- (1) 今年10月に予定されている「幼保無償化施策」の詳細は不明だが、保育士の不足や待機児童対策が予想される。特に保育士の確保については労働環境の整備、保育経験者の再雇用、飯田女子短大卒業者への働きかけなど早急に実施されたい。
- (2) 国の施策と地域要望（延長保育・未満児保育の実践）との整合性を図れるよう、地域との協議を十分に行われたい。

対応状況（子育て支援課）：



- (1) 幼児教育・保育の無償化ガイドブックを作成するなど、保護者をはじめとする市民への周知に努めました。今後、増加が見込まれる保育ニーズへ対応する人材確保が重要です。  
国は平成25年度より年次的に保育士の給与改善を進めており、市の保育所等運営費もそれに応じて上昇させています。  
市独自の「地域協働型運営モデル」として、地域の協力・協働をいただきながら潜在保育士を発掘する取組のほか、地元就職を促進するため養成校と協議しています。
- (2) 川路・上久堅の地域運営による延長保育を市へ引継ぎ、地元要望の高かった丸山・三穂を加えた4園において、国の無償化施策と整合する形で10月より保育時間の延長を予定しています。

**提案4：小中学校の空調設備の整備について**

昨年の猛暑を受け、小中学校の普通教室への空調設備が2019年度に予定されている。  
国への補助金の働き掛けも含め、予定通り計画が行われるよう（施策を）進められたい。

対応状況：



- ・小学校普通教室においては、夏休み明けまでに設置工事を完了することができました。
- ・また、職員室等管理諸室への設置も、小学校については完了することができました。
- ・引き続き中学校の設置について、年内の完了を目標に進めます。

○今後の所管事務調査

- ・今年、「子どもを見守り育む社会について」をテーマに調査研究を実施中です。